

日本語教育機関教育活動評価

自己点検・評価票

2025年6月

東京コスモ学園

日本語教育機関のための自己点検・評価項目について

評価方法

- ・A:「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B:ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる項目。
- ・C:達成に向けて努力している項目。
- ・D:「未達成」あるいは「適合していない」項目。

I. 教育の理念・目標

イ) 〈理念・ミッション〉:

本学は、人に対する日本語教育を行い、日本の文化、文学、芸術などの研究及び高等教育機関への進学を図り、もって日本語関連教育の発展に寄与することを目的とする。

ロ) 〈教育目標〉:

日本語の学習を通じ、日本の文化や社会への興味・関心をかきたて、その探求や理解を目指す。その達成を経て、新しい視点で母国を、更には自分自身を見つめ直すことができるような気付きの機会を設ける。

学生が自分の新しい可能性を発見し、よりよい未来へと歩んでゆけるようにサポートしてゆく。

評価:A

- ・本学のホームページ上で閲覧可能なので、本学に興味を持った学生に理念を伝え、かつ、講師一同の指針となっている。校内の掲示板にも載せています。

II. 学校運営

[A] 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか。

[A] 学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。

[A] 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか。

[A] 組織運営や人事、財務管理に関する規定や意志決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか。

[B] 危機管理体制は整備されているか。

[A] 業務の効率化が図られているか。

[A] 職務分掌と責任が明確にされているか

[A] 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう整備されているか。

- ・オンライン上での日報の作成など業務の効率化を図っている。
- ・施設の整備が定期的に行われている。
- ・業務と担当者を明記した役割分担、事業計画書はないため、制作するように努める。
- ・災害時の準備が十分ではないため、整備を再検討中。

III. 教育活動

[A] 教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか。

[B] 教育理念・目的が教職員間で共有されているか。

[B] 成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか、また、適切に運用されているか。

[A] 教員の指導力向上のための取組、教育課程の改善のための取組が行われているか。

[A] 教職員の評価を行っているか。

- ・各クラスのレベルごとに担任講師がカリキュラムを作成するため、レベルにあった指導を可能にしている。
- ・今後、成績評価を改善するため試験の実施回数を増やしていく予定となっている。
- ・新任講師には OJT を実施、一対一での指導により指導力の向上を図っている。

IV. 学修成果

[A] 学生の日本語能力の向上が図られているか、適切に把握しているか。

[A] 学生の進路を適切に把握しているか

[B] 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか。

- ・学習者の希望調査を定期的に聞き取り、対応を迅速に行うようにしている。
- ・卒業後の進路については、データベース化しており、適切に把握している。
- ・進学先との関係を保ち、卒業生の社会的評価の把握にも努めている。

V. 学生支援

[A] 健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか。

[A] 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。

[B] アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。

[B] 受け入れする学生の言語対応が可能な組織になっているか。

[B] 防災や緊急時における体制が整備されているか。

[A] 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか。

[A] 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを継続的に行っているか。

[A] 常に最新の学生情報を把握しているか。

- ・アルバイトを希望する学生に関しては状況を把握し指導を行うようにしている。
- ・中国からの学習者に対するサポート体制は充実している。一方で、近年急増しているミャンマーの学生に対する支援体制を整えていくように努めている。
- ・入国・在留関係に関して重要性を周知し、問題が発生しないように声掛けを行っている。

VI. 進路支援

[A] 学生に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか。

[A] 学生の進路開拓のための取り組みがなされているか。

[B] 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか。

[A] 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか。

[B] 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。

[A] 入学時からの一貫した進路指導を行っているか。

[A] EJU、JLPT、J-TEST 等の受験指導体制は整っているか。

- ・進学フェアに学校として参加をしている。
- ・留学生向けの進路説明会について、積極的に参加するように呼びかけをしている。
- ・進学・就職に関する資料を自由に閲覧するスペースを確保できるように検討中。
- ・各クラスの担任が学生個別の相談を受けているため、より親身に対応できている。

VII. 教育環境

【A】 学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか。

【A】 教材は適切か。

【A】 学習効率を高めるための環境整備がなされているか。

【B】 教育、学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用できる環境になっているか。

【A】 授業時間外に自習できるスペースが十分確保されているか。

- ・アナログからデジタルまで設備が用意されており、講師のスタイルに応じて適宜活用することが可能。
- ・教科書はより時代に即したものを用意するように心がけている。
- ・開き教室を解放し自習が可能になっている。今後は参考書をそろえるなど環境を整えていく予定。

VIII. 入学者の募集

【A】 入学者の募集は適切に行われているか、その際に学校情報は正確に伝えられているか。

【A】 入学選考は、適切かつ公正な基準に基づき行われているか。

【A】 適正な定員設定及び在籍者数になっているか。

【A】 海外の代理店等の行う募集活動が、適切に行われていることを把握しているか。

【A】 授業料等は適切か。

- ・現地募集（申請、面接等）、対面で実施している。
- ・インターネット（ホームページや SNS など）を活用し、各留学センターから充実した情報を伝えられるように取り組んでいる。

IX. 財務

【A】 財務状況は、中長期的に安定しているか。

【A】 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。

【A】 適正な会計監査が実施されているか。

- ・監査役が適切に監査している。
- ・財務基盤は安定しており、半年単位で予算の管理を行っている。

X. 法令遵守

【A】 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営を行っているか。

【A】 個人情報保護の対策が取られているか。

【A】 自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか。

【A】 入国管理局、関係省庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか。

- ・法令は遵守している。
- ・法令遵守の徹底について、校長もしくは役員が担当となり定期会議でさらなる意識の向上をはかる。

I. 地域貢献・社会貢献

【B】日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行っているか。

- ・外国から来ている中学生に日本語を行う活動をおこなっている。
- ・今後も地域の方々との親交を深めるように積極的に地域貢献を行っていきたい。